公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
ニュース　No.56(95)

２０１４．７．２７
■発　行
公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
■発行人　梅　本　昭　英
■編　集　小　湊　裕　一
■事務局　〒897-0132
南九州市川辺町中山田1973-2
ＴＥＬ0993(58)9035
ＦＡＸ0993(57)2035
■印　刷　中　礼　印　刷

総会員２３３５名（７／１５現在）

URL : http : ／／www.minc.ne.jp／kpta／
e-mail : infokpta＠po.minc.ne.jp

ダイヤモンドプリンス

目　次

第27回鹿児島県理学療法士学会受賞者紹介 …… 2
平成26年度第１回鹿児島県理学療法士協会共催
鹿児島県理学療法士連盟研修会報告 …… 3
～理学療法週間　広報活動報告～
平成26年度家庭療育講座報告 …… 4
平成26年度公開講座報告 …… 4
リハビリテーション『進路相談会』・『お悩み相談会』を終えて … 5
第28回鹿児島県理学療法士学会のお知らせ及び
演題募集要項 …… 6
新人プログラムｅーラーニング受講に関するご連絡 … 8
鹿児島ブロックだより …… 9
鹿児島県理学療法士協会専門領域研究部研修会のご案内 … 10
運動器の認定理学療法士の資格を持ちたいとお考えの先生方吉報 … 12
地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度について … 13
私と私の職場 …… 14
会費納入について …… 15
事務局だより …… 16
編集後記 …… 18
平成26年度鹿児島県理学療法士協会行事スケジュール表 … 19

第27回鹿児島県理学療法士学会受賞者紹介

学会長賞受賞者

鹿児島大学病院　　**鎌　田　みづほ 先生**

演題名

「足関節運動と姿勢の違いにおける下肢深部静脈血流の計測の試み」

受賞者から一言

この度、学会長賞という立派な賞をいただき、誠にありがとうございます。大変光栄に思っております。また、今回の賞を受賞するにあたり、未熟な私に熱心にご指導下さいました先生方、また、被検者としてご協力頂いた方々にも感謝いたします。ありがとうございました。今回、足関節運動や姿勢の変化により、血流量や血流速度がどのように変化するかという点に着目し研究発表いたしました。この研究においては、これからも継続していく予定です。今後も、理学療法士として、さらに向上できるよう日々業務・研究に精進していきたいと思っております。

奨励賞受賞者

いちき串木野市医師会立脳神経外科センター　　**松　藤　春　佳　先生**

演題名

「環境設定が起立‐着座動作に与える影響
　～case study 臨床における環境設定を通して～」

受賞者から一言

この度、学会奨励賞という名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。このような賞を頂けたのも、ご協力頂きました患者様、ご多忙中ご指導頂いた諸先生方のお力添えの賜物でございます。この場をお借り致しまして、お礼申し上げます。

臨床の現場において回数をこなすだけのリハビリではなく、動作の質を追求したいという想いから今回の研究に取り組みました。

発表では、様々な環境因子があるなかで「患者様の最大限のパフォーマンスを引き出すこと」の重要性を述べました。同様に、測定機器が限られた環境でも、工夫して研究を行えるということを改めて実感致しました。

今回、研究に取り組む中で様々な反省点が生まれましたが、次のステップへとつなげていきたいと考えます。

今後、理学療法士という専門職として、起立‐着座動作に限らず、すべての動作において質の高いリハビリを提供できるよう、益々励んでいきたいと考えます。

平成26年度第１回鹿児島県理学療法士協会共催

鹿児島県理学療法士連盟研修会報告

平成26年度第１回鹿児島県理学療法士協会共催鹿児島県理学療法士連盟研修会が、日本理学療法士協会半田一登会長をお招きし、鹿児島大学医学部保健学科にて開催されました。

開催に先立ち、鹿児島県理学療法士連盟村山会長より**「鹿児島県理学療法士連盟とは～想いをかたちに～」**と内容で参加者へ説明がありました。早いもので、理学療法士の山口かずゆき先生(参議院議員)が力を発揮する場に立たれてから１年となります。

半田会長の講演でもありましたが、これまでの協会実績や、山口先生の影響も今年度の診療報酬改定に反映されているようです。

参加された皆さんは、新年度のお忙しいなか参加いただき、書面ではわかり得なかった改定の裏側の話なども聞くことができ、直接会長へ質問する機会を得、有意義な時間となったのではないでしょうか。また、新卒の理学療法士の方の参加もみられ、これから社会人として頑張ろうと生き生きした目をみて大変頼もしく思えました。

理学療法士が誕生してから約50年が経過しようとしています。忘れてはならないのは理学療法士という職業が発展してきたのは、先輩たちの血のにじむような努力によって培われた結果です。

「臨床力」「社会(職能)力」両輪がバランスよく動くことで、私たちが元気で生活できることにつながります。45歳以下の人口構造が80～90％を占める職業です。若い世代の力・発言力が大きな流れを創ります。理学療法の素晴らしさ・難しさ・楽しさを日々実感している皆さん、理学療法士について自分たちの将来について真剣に向きあう時期ではないでしょうか？

今後２回目も計画中です。

職場の同僚・養成校時代の同級生と一緒に参加されてみませんか？

詳しくは、鹿児島県理学療法士協会ホームページのリンクより鹿児島県理学療法士連盟ホームページへ入り、ご確認ください。

～理学療法週間　広報活動報告～

平成26年度家庭療育講座報告

理学療法週間の企画として、平成26年６月15日（日）に家庭療育講座を開催しました。

昨年は、療育についての講義を致しましたが、今回はこれに続く意味合いのもと、鹿児島養護学校の特別支援コーディネーターの亀田純先生をお招きして「就学に対するフォロー」と題し、講義して頂きました。

参加者は、障害を持つ子どもの家族や療育関係者、保健所職員、リハビリテーション職など84名という多くの方が参加・受講されました。講義では、障がいに対する捉え方やその方々の地域でのフォローなどの考え方を中心に養護学校における取り組みについての内容でした。今回は11名の家族の参加者があり、「就学についてどこに相談すればよいのか？」「養護学校と支援学級の違いは？」など、切実な質問が多々あり、参加者も熱心に拝聴しておりました。講義の中でも出てきたことで、「医療、福祉、保健だけでなく、教育ともしっかり連携していくことが重要」とありましたが、まさにその通りだと強く感じました。

来年度以降の家庭療育講座も今回のように、ともに学び合えるような内容を検討し、開催していきたいと考えております。

平成26年度公開講座報告

公益事業部長　瀬戸口　佳　史

平成26年６月15日、理学療法週間事業として公益事業部では、かごしま県民交流センターで看護介護職員向け技術研修会を開催しました。

講師にNPO法人動作介助研究会の佐藤幸恵先生、梅田園恵先生をお招きし、「“自分でできる”を支援する介助～Human's Natural Actionの実践～」をテーマに講演していただきました。人間の自然な動きを解説しながら、寝返り、起き上がり、立ち上がり、移乗動作について実技を中心に研修会は進行しました。

例を挙げると、動作には体軸に存在するレールに沿って、文節的に体幹は捻れ行われる事を解説し、人の自然な動作では見られない介助はその人の残存能力を低下させ、介助量も増す事を強調して指導していました。また、起き上がり動作では上体を持ち上げることよりも、骨盤を押し下げることで、持ち上げることのない介助法を教えていただくなど、視点を変えた介助法も講義していただきました。

約100名に参加頂き、受講者は熱心に研修に取り組み、明日からでも臨床に応用できる、充実した介助技術を体験しました。セラピストに対しても自己研鑽や施設内伝達講習にも”おすすめ”の内容であると思いますで機会がありましたら是非参加してみてはどうでしょうか。

～理学療法週間　広報活動報告～

リハビリテーション『進路相談会』・『お悩み相談会』を終えて

広報部長　福　留　史　剛

広報部では６月15日（日）、かごしま県民交流センターにて昨年同様、「リハビリテーション職種を目指すやる気のある鹿児島の若者を鹿児島で育てよう」を趣旨に『進路相談会』・『お悩み相談会』を開催致しました。開催にあたり、作業療法士会・言語聴覚士会広報部とのミーティング、県内各高校の進路相談室への案内文・ポスター送付、県内養成校への参加依頼、南日本新聞にて告知を行いました。

内容としまして、

・各養成校の特色を聞くことができる『進路相談会』

・現場のPT・OT・STが一般の方からのさまざまな質問にお答えする『お悩み相談会』

を企画しました。養成校は県内全ての養成校に参加いただきました。

参加人数は昨年を大きく上回る47名の方が来場され、開始当初より養成校のブースは大盛況となりました。親御さんと来られる学生さんも多く、みなさん熱心に説明を聞かれていました。

今後も、広く県民の皆様へ理学療法(士)を周知して頂けるよう取り組んでいければと思います。

お忙しい中、当日参加頂いた養成校の先生方、また相談会をお手伝い頂いた先生方、ご協力ありがとうございました。

〈参加養成校〉

鹿児島大学医学部保健学科	**理学療法学専攻**
鹿児島医療技術専門学校	**理学療法学科　作業療法学科　言語聴覚療法学科**
鹿児島第一医療リハビリ専門学校	**理学療法学科　作業療法学科　言語聴覚学科**
神村学園専修学校	**理学療法学科　作業療法学科**
鹿児島医療福祉専門学校	**理学療法学科**

第28回鹿児島県理学療法士学会のお知らせ及び演題募集要項

学　会　長　廣　瀬　直　紀
学会準備委員長　黒　岩　博　文

謹啓　時下ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、**第28回鹿児島県理学療法士学会を平成26年11月１日～11月２日に奄美市名瀬公民館ホールで開催**する運びとなりました。つきましては多数の応募をお願いしたく、以下の要領にてご案内いたします。

例年では、２月頃開催されますが、今回は時期が異なっております。開催まで日数が短いですが、奄美ブロック一丸となって開催の準備を行っております。たくさんの会員のお越しをお待ちしております。

演題応募についてご不明な点は以下のお問い合わせ先までお問い合わせください。

演題募集要項

Ⅰ．応募資格

１．演題登録時点で、公益社団法人鹿児島県理学療法士協会会員に限ります。

２．共同演者も原則として本会会員に限ります。

Ⅱ．応募方法

１．E-mailにて下記応募記載項目を記載し、演題原稿ファイルを添付して送信して下さい。演題原稿ファイルにつきましては、「Ⅳ」の作成要領に従って作成して下さい。
E-mailを利用できない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

２．送られてきたメールのアドレスを今後の連絡用メールアドレスとして使用させて頂きます。連絡用に別な連絡用アドレスを希望される場合はその旨をメールに記入して下さい。

３．E-mail受信後１週間以内に受信確認の返信メールをお送りします。１週間経っても返信メールが届かない場合はお手数ですが以下のお問い合わせ先までお問い合わせ下さい。

４．応募記載項目
メールタイトル：「28回県学会演題応募」
①発表演者の氏名、会員番号、所属施設
②演題タイトル
③演題分類番号
（以下の演題分類より選択して下さい）
01．基礎理学療法　02．神経理学療法
03．運動器理学療法　04．内部障害理学療法
05．生活環境支援理学療法　06．物理療法
07．教育・管理理学療法　08．その他
なお、発表形式と演題分類は学会側の判断で変更する場合がありますので、ご了承下さい。

Ⅲ．演題応募期間（期間厳守）

平成26年６月１日（木）14:00から
平成26年８月１日（金）14:00まで

Ⅳ．抄録原稿ファイル作成要領

１．原則としてファイル形式はMicrosoft Word形式とします。

２．演題タイトル、氏名、所属施設、本文の順番に改行して記載して下さい。

３．氏名は発表演者を先頭にし、発表演者名の前には○を付けて下さい。

４．共同演者は筆頭演者の後ろに記載し、各氏名の間にはスペースをつけて下さい。

５．所属施設が複数ある場合には、氏名の後ろに番号を振り、番号順に改行して記載して下さい。

6．本文（演者名・所属を除く）の文字数は2000字以内を厳守して下さい。

7．本文には【目的】・【方法】・【結果】・【考察】・【まとめ】等の小見出しを付けて下さい。

8．図表は使用しないで下さい。

なお、学会誌のフォント、レイアウト等は学会側で調整させて頂くことをご了承下さい。

Ⅴ．応募上の注意

1．応募された演題と学会当日の発表内容が大幅に異なることのないようにして下さい。

2．発表演者として複数の演題を応募することは認められません。１人１演題を遵守して下さい。

3．本文中に研究対象にとって不利益となるような属性（人名、施設名等）を記載しない等、プライバシーポリシーに配慮して下さい。

4．演題原稿に関する著作権は第28回鹿児島県理学療法士学会および筆頭演者に帰属し、学会誌に掲載されます。

5．採択後の演題取り消しはできませんので、ご注意下さい。

6．発表演者が発表できない場合は必ず共同演者が発表を行って下さい。

Ⅵ．応募演題に関する倫理上の注意

ヘルシンキ宣言に沿った研究であることを確認して下さい。研究対象には十分な説明を行い、同意を得たことを本文中に明記して下さい。

また、レントゲン撮影や侵襲を伴う研究方法がなされた場合は、実際に施行した人の職種を明記して下さい。

なお、演者の所属する機関の倫理委員会で承認された研究の場合は、その旨を記載して下さい。

Ⅶ．発表形式について

1．発表時間

発表時間は７分以内、質疑応答は３分以内とします。

（演題数により変更される場合があります。）

2．口述発表スライド作成要領

1）PCプレゼンテーションを使用します。

2）ファイル形式はMicrosoft Power point形式としスライド枚数は発表時間内であれば特に制限を設けません。

3）動画及びアニメーションは使用できませんのでご注意下さい。

＊今回は、口述発表のみで
ポスター発表はありません。

Ⅷ．演題審査

演題の採択は学会の査読委員による結果を参考に、学会長が決定します。採否結果と発表日（11月１日もしくは11月2日）のご連絡は、9月中旬頃を予定しています。

Ⅸ．生涯学習のポイントについて

発表演者は新人教育プログラムの単位として認められます。

Ⅹ．応募先

第28回鹿児島県理学療法士学会
準備委員：明　響子、鈴木大剛
（名瀬徳洲会病院　リハビリテーション科）
E-mail：naze-pt@aqua.ocn.ne.jp
TEL:0997-54-2222　FAX:0997-55-1600

Ⅺ．お問い合わせ先

第28回鹿児島県理学療法士学会
準備委員長　黒岩博文
（大島郡医師会病院　リハビリテーション科）
E-mail：omahp.reha@gmail.com
TEL:0997-54-8111 FAX:0997-54-8870

新人教育プログラム　e-ラーニング受講に関するご連絡

生涯学習担当理事　生　駒　成　亨
生涯学習部長　長谷場　純　仁

日本理学療法士協会より「e-ラーニング新人教育プログラム」に関して、下記の要領にて会員の皆様へご利用いただける準備ができたことの通知がありましたのでご連絡いたします。

詳しくは協会HP（http://www.japanpt.or.jp/lifelonglearning/seminer_open_list/）をご参照ください。

ｅ－ラーニングでの受講を開始します！
（新人教育プログラム　Ａ・Ｃのテーマ除く）

◆対　　象：**４年目以上**の新人教育プログラム履修中の会員

◆テ ー マ：新人教育プログラム**Ｂ・Ｄ・Ｅのテーマを受講できます**
※　新人テーマＡ・Ｃは、所属士会の研修会または理学療法士講習会基本編を受講してください

◆申　　込：平成２６年**６月９日から受付開始**します
お申し込みは、「セミナー・講習会情報閲覧」または「マイページ」よりお申し込みください

◆受 講 費：８,６４０円（６ヶ月間）

◆期　　間：平成２６年７月１日～平成27年２月28日

◆受講期間：申込月～６ヶ月間
※６月申込の場合、７月から６ヶ月間受講可能

申 込 月	６月	７月	８月	９月	１０月
受講可能期　間	７月～１２月末	７月～１２月末	８月～１月末	９月～２月末	１０月～２月末
申 込 月	１１月	１２月	１月	２月	
受講可能期　間	１１月～２月末	１２月～２月末	１月～２月末	２月～２月末	

※ 申込から受講開始まで手続きの関係で、数日かかりますことをご了承ください。

鹿児島ブロックだより

鹿児島地区理事　有　村　宜　彦
鹿児島地区部長　五十峯　淳　一
押　　耕　作

平成26年度鹿児島ブロック研修会日程のお知らせ

平成26年度の鹿児島ブロック研修会は、新人教育プログラム未終了の方を対象とした症例検討会と新人教育プログラムに対応した研修会（理学療法の臨床）を行う予定です。新人教育プログラム未終了の方が、症例報告を行い、かつ研修会を受講した場合、症例報告３単位、研修会受講１単位の合計４単位が取得できます。参加のみの場合でも１単位が取得できます。以下の日程と内容を確認の上参加してください。よろしくお願いいたします。

第１回研修会

日　時：平成26年９月６日（土）14:30～
場　所：八反丸病院研修室
テーマ：「症例報告会」「C－２運動器疾患の理学療法」
症例報告の締め切り：８月25日（月）

第２回研修会

日　時：平成26年12月6日（土）14:30～
場　所：八反丸病院研修室
テーマ：「症例報告会」「C－１神経系疾患の理学療法」
症例報告の締め切り：11月24日（月）

＊新人教育プログラム未終了の会員が対象となります。生涯学習のポイントにはなりませんので注意してください。

症例報告会演題募集について

症例報告会の演題を募集します。
発表形式：パワーポイントでのプレゼン方式（質疑応答を含めて15分程度）
第１回締め切り：８月25日（月）　第２回締め切り：11月24日（月）
申込先：reha@hattanmaru.jp　八反丸病院　五十峯宛

ご不明な点は下記までお問い合わせ下さい。
八反丸病院　五十峯（イズミネ）：TEL099-222-3111

鹿児島県理学療法士協会専門領域研究部研修会のご案内

理事　大　渡　昭　彦
部長　牛ノ濱　政　喜

平成26年度に開催される研修会をお知らせいたします。

研修会予約は事前登録制になっており、領域ごとに受付内容や注意事項が異なりますので、詳細は県士会ホームページに掲載されます、各領域の案内状をご覧下さい。

尚、今年度より受付時に緑色の「協会会員証」が必要となりますので、ご注意ください。

鹿児島県理学療法士協会小児系研修会のご案内

第１回【日　時】　平成26年10月５日（日）
【場　所】　鹿児島大学医学部保健学科教育棟　４階　401号教室
【テーマ】　「臨床に役立つ小児発達評価（評価の概要）」
【講　師】　近藤　和泉先生（国立長寿医療研究センター　医師）

第２回【日　時】　平成26年12月14日（日）
【場　所】　検討中
【テーマ】　「臨床に役立つ小児発達評価（GMFCS）」
【講　師】　県内PT講師検討中

第３回【日　時】　平成27年３月１日（日）
【場　所】　検討中
【テーマ】　「臨床に役立つ小児発達評価（呼吸機能と呼吸介助）」
【講　師】　県内PT講師検討中

お問い合わせ先　NPO法人療育サークルはなはな代表　前原利彦　kirishimakodomo@ace.ocn.ne.jp

鹿児島県理学療法士協会呼吸器系研修会のご案内

第１回【日　時】　平成26年８月３日（日）　10:00～16:00（県士会HPにて掲載中）
【場　所】　鹿児島大学医学部保健学科　運動療法実習室
【テーマ】　「アセスメント」定員40名で実技中心に行う予定
【講　師】　片平　美文先生（菊野病院　理学療法士）

第２回【日　時】　平成26年12月７日（日）　10:00～16:00
【場　所】　鹿児島大学医学部保健学科　運動療法実習室
【テーマ】　「排痰」定員40名で実技中心に行う予定
【講　師】　調整中

第３回【日　時】　平成27年２月８日（日）　9:30～12:30
【場　所】　かごしま高岡病院
【テーマ】　「運動療法」定員40名で実技中心に行う予定
【講　師】　調整中

お問い合わせ先　川辺生協病院　石峰幸恵　respptk@gmail.com　TEL0993-56-6111

鹿児島県理学療法士協会神経系研修会のご案内

第１回【日　時】　平成26年９月28日（日）
【場　所】　鹿児島医療技術専門学校（平川キャンパス
【テーマ】　「脳卒中の運動療法　～床上動作を中心に～」
【講　師】　内匠　正武先生（菊野病院　理学療法士）
第２回【日　時】　平成26年11月16日（日）
【場　所】　鹿児島医療技術専門学校（平川キャンパス
【テーマ】　「脳卒中の運動療法　～床上動作から立ち上がり～」
【講　師】　内匠　正武先生（菊野病院　理学療法士）
第３回【日　時】　平成27年１月18日（日）
【場　所】　鹿児島医療技術専門学校（平川キャンパス
【テーマ】　「脳卒中の運動療法　～立ち上がりから歩行～」
【講　師】　内匠　正武先生（菊野病院　理学療法士）

お問い合わせ先
医療法人菊野会菊野病院　山中　純　kikunorc@po.minc.ne.jp　TEL0993-56-5654

鹿児島県理学療法士協会生活環境系研修会のご案内

第１回【日　時】　平成26年８月24日（日）　9:00～12:30　（県士会HPにて掲載中）
【場　所】　介護老人保健施設　愛と結の街　定員20名
【テーマ】　「生活を支えるリハビリテーション　～移乗動作（福祉用具を含めて）～」
【講　師】　土井　敦先生（今村病院分院　理学療法士）
第２回【日　時】　平成26年９月21日（日）
【場　所】　恒心会おぐら病院
【テーマ】　「生活を支えるリハビリテーション　～座り方～」
【講　師】　井崎　弥生先生（なちゅは鹿児島　理学療法士）
第３回【日　時】　平成27年２月22日（日）
【場　所】　川内市医師会立市民病院
【テーマ】　「生活を支えるリハビリテーション　～急性期から終末期まで～」
【講　師】　井崎　弥生先生（なちゅは鹿児島　理学療法士）

お問い合わせ先　加治木温泉病院　戸田博之　rihabiri@gyokushoukai.com　TEL0995-62-0001

鹿児島県理学療法士協会運動器系研修会のご案内

第２回【日　時】　平成27年１月25日（日）　9:00～12:00　定員30名
【場　所】　今村病院分院1F　スポーツリハビリセンター
【テーマ】　「マッスルインバランスと運動機能障害の捉え方　～下部体幹編～」
【講　師】　白尾　泰宏先生　（今村病院分院　理学療法士）

お問い合わせ先　医療法人中山整形外科　牛ノ濱政喜　ushinohama@chuzanseikei.jp
（今年度より受付メールアドレス変更いたしました。）

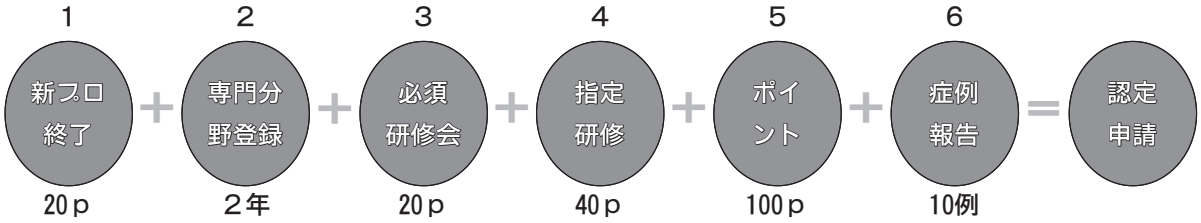
運動器の認定理学療法士の資格を持ちたいとお考えの先生方に吉報

平成26年12月14日（日曜日）に（運動器）認定理学療法士必須研修会（鹿児島）を開催致します。（運動器）認定理学療法士必須研修会は、認定理学療法士の資格希望の先生は、必ず受講しなくてはならない講習会です。現在まで鹿児島で（運動器）認定理学療法士必須研修会が開催されたことはありません。今年は、鹿児島開催誘致に成功しました。今年の開催は、東京・大阪・鹿児島の３カ所のみです。

おそらく来年は、鹿児島での開催は無理だと思われますので、今年、鹿児島在住の先生方においては、是非、受講を強くおすすめ致します。今年受講しておけば、必須研修会の20pは生涯消失しません。今年は特別です。

おそらく、会場の鶴陵会館は満席になると予測されます。早めの受講申込がお勧めです。
詳しくは、日本理学療法士協会ホームページ→マイページ→研修会・学術大会→受講申込登録→認定必須研修会・協会指定研修→（運動器）認定理学療法士必須研修会（鹿児島）詳細でご確認ください。

＜2014年度の認定理学療法士受験申請について＞
申請書類審査（ポイント）・（事例・症例報告・レビューレポート）＋試験で認定理学療法士になれます。申請には180ポイント必要です。



＜受験申請条件＞
１．新人教育プログラムを修了・免除
２．専門分野（旧専門領域研究部会）登録後２年以上経過
　※2013年（平成25年）３月31日までに登録
３．申請する領域の必須研修会の受講
　PS　平成26年12月14日（日曜日）に（運動器）認定理学療法士必須研修会（鹿児島）を受講申込済みで今年の受験申請可能です。
４．指定研修の受講
５．各領域の履修要件に即したポイントを100ポイント取得
　※新プロ修了後に取得したポイントまたは2009年４月以降に取得したポイントから2014年11月30日までに取得されたポイントが有効
６．事例・症例報告・レビューレポート（10例）

＜受験申請受付期間＞
平成26年11月１日（土）～11月30日（日）まで

＜認定試験実施日＞
平成27年２月28日（土）

鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻
日本理学療法士協会　研修小委員会委員　大　重　　匡

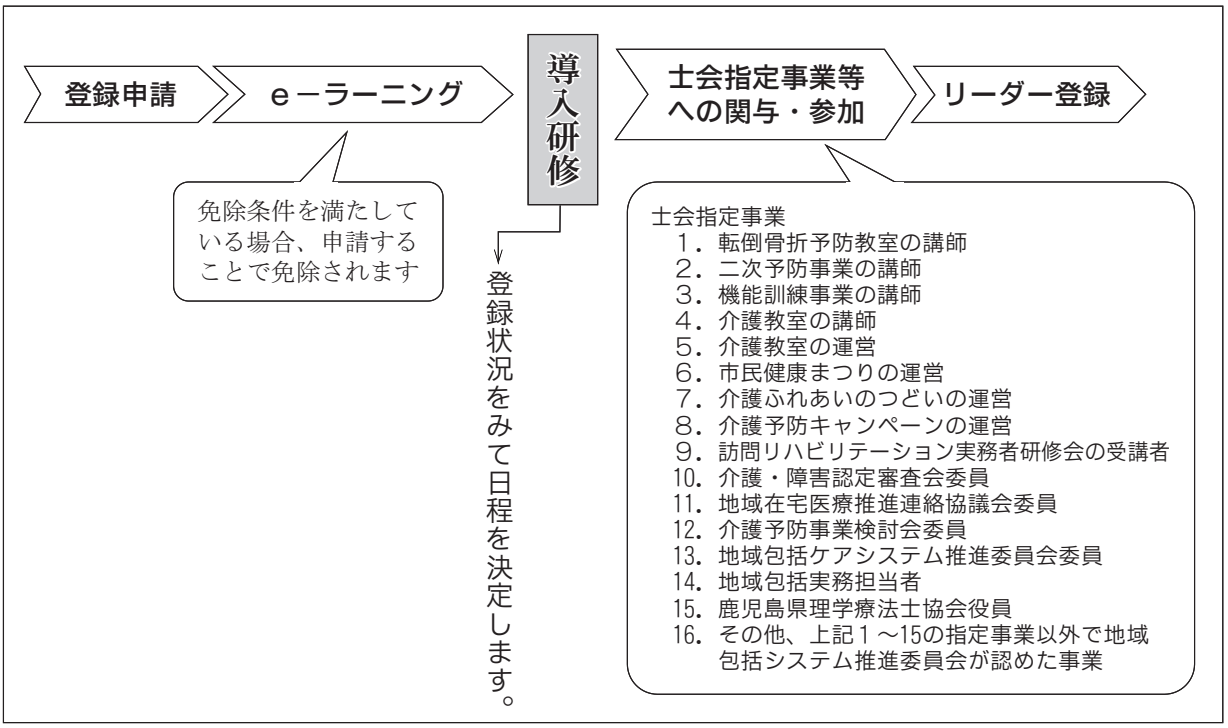
地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度について

地域包括ケアシステム推進委員会　赤　﨑　昭　朗

皆様もご承知の通り、国は、『地域包括ケアシステム』の構築を実現することによって、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的にできるまちづくりを実現し、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続ける姿を目指しています。

上記の状況を鑑み、本会ではリーダー育成事業を開始します。(日本理学療法士協会ホームページより)

日本理学療法士協会（協会）では、『地域包括ケアシステム』を推進するにあたって、「地域ケア会議」、「介護予防」の２つの施策に重点を置き、リーダー育成事業とし、地域包括ケアシステムに関わることのできる人材の育成を始めています。そのための育成制度として、【地域包括ケア推進リーダー】、【介護予防推進リーダー】の２つの資格コースを設定しています。制度や登録の詳細はホームページをご参照下さい。マイページより手続きをお願い致します。



随時更新しますので、ご覧下さい。

今年度導入研修は下半期で計画中です。県で登録者を確認し、導入研修の計画を立てていきますので、興味のあられる方は、まずは、登録をお願い致します。

私と私の職場

医療法人春成会
介護老人保健施設アメニティ国分　　轟 木　遥

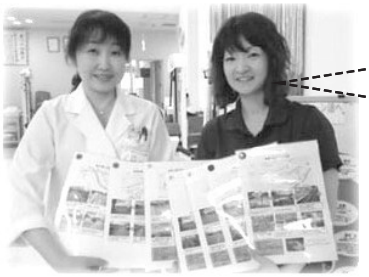
皆様こんにちは。今回の「私の職場」は霧島市の介護老人保健施設アメニティ国分です。

当施設は平成10年４月に開設し、今年で16年目となります。入所定員80床、デイケア定員80人にて運営しており、介護や看護を必要としている方に対して医学的管理に基づいた介護や看護、在宅復帰の調整などを行い、再び安心してご家庭で過ごせるようにお手伝いをさせて頂く施設です。

同一法人には母体病院の鵜木医院のほか、居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・ヘルパーステーション・グループホーム・小規模多機能ホーム・認知症対応型デイサービス・サービス付き高齢者向け住宅・生活支援ハウス・コンビニフィットネスがあり、小児医療から高齢者介護まで地域に根ざした医療福祉施設となるべく幅広く事業を展開しています。

私の所属するリハビリテーション課は現在、理学療法士３名・作業療法士３名・言語聴覚士１名・リハビリ助手２名・事務１名の計10名にて構成されています。業務内容は利用者様への個別リハビリをはじめ、パワーリハビリ・介護予防事業があります。その他、各種在宅訪問も理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、介護福祉士等と協業して積極的に行なっており、在宅復帰を目指す上で必要な動作を見出し、リハビリプログラムに反映しています。介護予防事業は、要支援１、２と認定された方に対し理学療法士・リハビリ助手・言語聴覚士・介護福祉士・看護師・管理栄養士がチームとなっており、自宅でも簡単かつ効果的に行えるような運動を指導しています。また、定期的に専門職による勉強会をも行なっており、好評を得ています。

当リハビリテーション課の特徴として、「福祉用具に強い!!」ということが挙げられます。地域でも屈指の福祉用具保有数を誇り、ご利用中に試用いただけることで在宅復帰後もスムーズに導入できるようにアドバイスしています。福祉用具例としては、入浴リフト・移動移乗用リフト・移乗用補助具・ティルトリクライニング型やモジュール型といった多種多様な車いすがあり、車いす付属品として､高機能・多機能のクッションやバックサポートもあり､ポジショニングピローも充実しています。また、自助具や自助食器、靴等の購入の際にもアドバイスを行なっています。



利用者様が気軽にお散歩でき、地域に出掛けていきやすいようにと、施設近隣の「お散歩マップ」を作成しました。実際に１つ１つのコースを歩き、距離や消費カロリー等を計ったり、写真や注意点を載せたりと見やすさにも工夫しました。（写真は理事長と私です。）

今後も地域の皆様に益々愛される施設作りを目指して仲間達と精進し続けていきます。

次は「協愛病院」様です。よろしくお願い致します。

年会費 の納入はお済ですか？

日本理学療法士協会が指定する支払方法にてお支払い下さい。

納入額

日本理学療法士協会費11,000円+鹿児島県理学療法士会費9,000円　合計20,000円

日本理学療法士協会会費・県士会費が一括で請求がきます。

※4月1日から翌年3月31日までを1年間とし、年度初め在会者について納入義務が発生します。

会費納入には、便利なクレジットカードへの加入をお願いします。

日本理学療法士協会では、会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」(年会費無料)を指定しております。手続きのお済みでない方はお早めにお願いいたします。

楽天カードの手続きについては、日本理学療法士協会のホームページのマイページよりご登録ください。

こちらから

新たに楽天カードをお申込される方

既に楽天カードをお持ちの方へ（協会ＨＰからお申し込み以前）従来からお持ちの楽天カードを、「会費納入カード」としてご登録することが可能です。その場合も、マイページの楽天カード申込をご参照ください。

クレジットカードでの会費引き落としを行うことで、以下のようなメリットがあります。

・カードの年会費は無料です。
・納入忘れがなく、引き落とし手数料はかかりません。
　（クレジット利用明細、残高照会等の確認必要）

◇会費未納の方に関しましては、日本理学療法士協会より会費振込用紙が郵送されますので、速やかな振込をお願いいたします。

◇会費納入に関するお問い合わせ先
日本理学療法士協会　TEL 03-5414-7911 までお願いします。

日本理学療法士協会ならびに鹿児島県理学療法士協会の運営は、皆様の会費で運営しております。クレジットカードによる確実な会費納入により運営が効率的に行えるよう、加入をご検討いただきますようよろしくお願いいたします。